会長便り152

作者： Administrator
2012年 5月 23日(水曜日) 11:04 -

新正会員歓迎会によせて ～技術者としての自覚～

菊　地　芳　朗（GS34）

３月22日，新正会員歓迎会を行いました。卒業式もありました。歓迎会で次の様な内容の挨拶をいたしました。

昨年は，この歓迎会を行うことが出来ませんでした。ご存じのように東日本大震災で卒業式も行うことが出来ませんでした。誠に残念なことでした。

私たちは３月になれば４年生の卒業式があり，北光会の歓迎会があることは当たり前のことと考えておりました。しかし一度なくなってみますと，こうして行われていることが，いかに有難いことであり大事なことか，と思い知りました。

さて，この度の大震災ですが，日本は古来幾度かの地震と津波に遭ってきました。その度に私たちの祖先は，それを克服し繁栄してきました。しかし，今回の震災は違います。原子力発電所の事故で放射能が加わりました。日本は広島・長崎の原子爆弾と第５福竜丸の放射能汚染を経験しました。だが，この度の事故で，事故後の放射能対策や原子炉内の冷却水など事故対策に何ら対処してこなかったことが判明しました。全てが技術者の責任とは申しませんが，技術者の一人として反省しなければなりません。

皆様の多くは技術者として仕事をしていくものと思います。技術者が社会に対し，どのような責任が在るか，ということです。昨今の我が国の経済は，芳しいと申すことは出来ません。何か閉塞感を感じる様に見受けられます。資源の少ない我が国にとって経済発展のためには資源を輸入し，それを加工し付加価値を付けて輸出することが大切です。そのためにも皆様の技術力が必要です。そのことを良く考えて下さい。
このようなことを歓迎会で述べました。

さて，創立100周年記念会の募金ですが，ここに来て漸く２億円を超えました。ご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

３月31日現在，募金金額は4,561名（件）総額２億14万円で，その内訳は

企　　業：	263件	5,968万円
篤 志 家：	22名	153万円
教 職 員：	180名	1,138万円
学部後援会：	14回	2,981万円
北　光　会：	4,082名	9,774万円

であります。

募金は現在も継続しております。創立100周年記念事業の一つとして旧校舎を模した建物（インキュベーションセンターの事務棟）を建設中です。完成は10月頃と見られますが，これが出来ますと創立100周年記念会の見通しも付きますので，募金はその頃まで続けたいと思っております。

尚，北光会本部は，この建物に入居することになっております。

北光会で行いました東日本大震災義援金ですが，多くの皆様からご協力を頂きました。お礼申し上げます。賜りました義援金は本号の理事会報告に記載してあります様に，お見舞金として差し上げることにしております。

改めてお亡くなりになりました方のご冥福をお祈り申し上げますと共に，被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

３月２日の地元紙「秋田魁新報」に"秋田大，「国際資源学部」を新設　工学資源，教育文化を改組"を検討している，との記事が載りました。

これは国際的な資源開発や金属資源リサイクル分野に教育文化学部の国際系課程を集約して国際資源学部（仮称）を新設する。工学資源学部の工学・理学系学科は理工学部（仮称）に改組する，というものです。

これは我が国の資源外交と鉱工業を考えると，時代に要請されたものと考えられます。北光会としても必要があれば協力していかなければならないと考えております。一方，これは北光会自体の問題でもあります。5月の総会で学長の講演があります。ここで更に詳しい内容が聞かれるものと思います。

皆様の出席をお願いいたします。

北光会は皆様の会費で維持されております。
会費納入率の向上にご協力ください。